

桐生独自の親子自然体験型テーマパーク

— 自然から学ぼう！ 感じ取ろう！ —

公園緑地課 桐生自然観察の森

1 はじめに

「自然観察の森」は環境省の補助事業により全国 10 か所に設置され、桐生自然観察の森はその 1 つとして平成元年 4 月、川内町二丁目に開園された。約 20 ヘクタールあるフィールドの入口には事務所兼研修施設としてネイチャーセンターが設置され、その背後には雑木林やスギ林、そして沢や沼などの水辺を配するいわゆる里山が広がり、自然観察をしやすいように園路や観察舎が整備されている。

2 概要

桐生市は、山や川など自然に恵まれた地域にもかかわらず、子供たちが自然に触れる機会が少なくなっている。これら優れた自然に触れ、その面白さや、不思議さ、大切さを感じてもらおう場として、自然観察指導員（別名「レンジャー」）の協力も得ながら、さまざまな自然観察会や工作教室などを開催し、桐生の自然を好きになってもらい、それを守っていこうとする心も育てて行きたいと考えている。

事業としては年間約 50 回の観察会等を実施しているほか、来園する団体には自然観察指導等も行っている。また、開設当初から園内の生物調査や標本収集を継続しており、自然情報の蓄積にも努めている。

3 活動の様子

(1) 子供対象の主な事業

- ① 親子で春の森を歩こう（5 月）
- ② 森と生きもの親子教室（5～2 月、通年）
- ③ 夏休みこども自然教室（小学 1～6 年生対象）
- ④ ヘイケボタル観察会（7 月）

① 親子で春の森を歩こう



新緑の香りに包まれて
心ウキウキ楽しい気分

② 森と生きもの親子教室



春は木々の間で様々な
鳥が活発に鳴き始める



秋や冬にはリース飾り
や小鳥の巣箱も作る

③ 夏休みこども自然教室

(ア)



観察会を始める前に
ルールやマナーを学ぶ

(イ)



園内の危険な動植物や
対処方法などを学ぶ

(ウ)



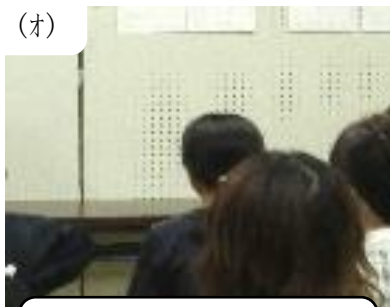
昆虫や水中で生息する
生き物などを調査する

(エ)

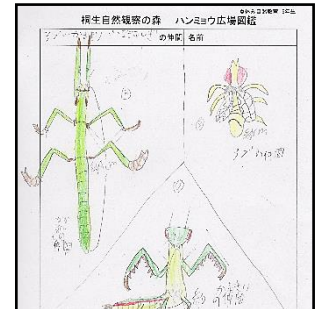


採取した生き物は図鑑
で調べてスケッチする

(オ)



調べたことや気付いた
こと等を皆の前で発表



5年生の発表内容例

(2) 保育園・幼稚園・学校・サークル等団体の来園時の観察指導



険しい木段も頑張って登る



落ち葉でハップジャンケン遊び

(3) 川に親しむ会（水辺の楽校）：川づくりネットワークきりゅうとの連携事業

4 おわりに

桐生市は車で30分以内の所に里山や川があり、高さ1,000m以上の山も持ち、質、量ともに優れた自然を有する地形である。この恵まれた環境で、自然に触れる機会をたくさん体験して、多くのことを学ぶことができる。それは四季の移り変わりを肌で感じること、生き物の命やその営みに直接にふれることなど、豊かな感性や思いやりの心を育むことにつながる。桐生の子供たちよ、大いに外に出て自分でその自然に触れよう。いつでもどこでもそのセンサーを持ち続け、感じ取れる人間になって欲しい。その素材が桐生にはあふれている。自然から学ぼう！感じ取ろう！